



COLUMN

香りの浄化力 ～古代の知恵と現代のサイエンス～

秋の風が心地よい10月。夏の名残を感じつつも、衣替えやお部屋の模様替えなど、「暮らしを整える季節」です。そんな時、ふと気づくのが“におい”の存在。湿気のコモった布、クローゼットの奥、生活空間に漂うわずかな不快臭…。それをやさしく包み込み、空気まで澄んだように感じさせてくれるのが、天然精油の香りです。

実は、香りと消臭の関係はとても古くから続いています。

古代エジプトでは神殿の清掃や儀式に芳香植物が欠かせず、「香りは悪しき気を祓うもの」と信じられていました。

古代ローマの浴場では、ラベンダーやローズマリーの束を湯に浮かべ、身体を清めながら空間の空気も浄化していたといえます。人は昔から、香りの力で空気を“きれいにする”ことを知っていたのです。

現代の科学もその知恵を裏づけています。

例えば、レモングラスやティーツリー精油には、アンモニアや酢酸などの不快臭成分と反応して匂いを中和する働きがあることが報告されています（日本香粧品学会誌 2018年）

また、ヒノキやユーカリに含まれる成分には抗菌作用があり、臭いのもととなる細菌の繁殖を抑える効果が知られています。つまり、天然精油は「いい香りを足す」だけではなく、「においの原因に働きかける」力を持っているのです。

さらに香りは、私たちの心にもそっと作用します。

嗅覚は脳の中でも感情や記憶をつかさどる“辺縁系”と直接つながっており、

香りを感じることでリラックスや集中など、心の状態まで変わることがわかっています。

秋の夜長、ふとした瞬間に漂う香りが、心までも澄ませてくれる感覚を、ぜひ暮らしの中で感じてみてください。



NEW TOPIC

飲食店へ“香りの消臭”を導入しました

今回のテーマは飲食店での「消臭」と「ブランディング」。

飲食店の特性上、香ばしい香りが食欲をそそる一方で、調理後のにおいやトイレなど限られた空間での臭気対策は課題となることがあります。

「高単価の料理を提供する上で、空間全体の清潔感や上質さを保ちたい」

そんな想いを伺い、飲食店への香りによる空間改善をサポートさせていただきました。

香りは、華やかで清潔感のあるシトラス系をベースに、オレンジとペパーミントをプラス。

飲食店でも香りすぎない上品さと爽やかさを両立しました。

また、“香りによる消臭効果”にも重点を置いています。

天然精油の空気浄化作用でにおいを覆い隠さず、打ち消すような空間を実現しています。

結果として、トイレ空間特有のにおいを感じにくく、リラックス感と高級感を兼ね備えた空気環境が生まれています。

今後も、飲食店や商業施設など、においと印象の両立が求められる空間へ、

香りによる快適なアロマ空間デザインを提案してまいります。



詳細やご相談はこちらから



サンクサンス株式会社



ノベルティサイト(軽井沢蒸留香房)



HPIにバックナンバーも掲載しています

